

企業/団体名	株式会社RevComm
事業内容	AI × Voice × Cloudのソフトウェアデータベースの開発
設立	2017年7月7日
従業員数	290人
所在地	東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 丸の内ビルディング28階
資本金	9億3500万円 (資本準備金含む)

## テレワークの取組概要

- テレワーク導入時期: 創業(2017年7月)以来
- ワークスタイル:
  - リモートワーク可・出社可(全国からリモート勤務可能)
  - フレックスタイム制(コアタイムなし)
  - ライフステージ/スタイルに合わせた多様な勤務形態(時短勤務など相談可)
- 利用テレワークツール: MiiTel/ Slack/ Notion/ Google 他
- 自社のテレワークの特徴: 「自由と責任」の両立を追求する働き方

日本各地だけでなく海外在住のメンバーも!



# テレワーク活用による効果と成功要因

## 経営効果

### 採用競争力の向上

全国・海外含む、居住地に制限されない優秀人材の採用が可能に  
年間50名-100名の中途社員、ミドル・シニア層の採用を実現

### 固定費の適正化・可変費化

オフィスや設備維持費の削減により、事業ステージに応じた柔軟な費用設計が可能に  
資金を成長投資（開発・採用等）へシフト  
シリーズAにして黒字化を達成

### 事業スケールのスピード向上

人材確保とコスト最適化が両立することで、短期間での雇用拡大・事業拡張が実現

### リスク分散と事業継続性

特定拠点への依存を避け、地理的リスク分散を実現。  
コロナなどの有事にも、業務を止めることなく事業運営が可能

### 従業員満足度

2025年3月サーベイ満足度 1位  
「ライフスタイルに合わせた働き方」

※全48項目中、社内満足度トップにランクイン  
(3位「休日の確保」、11位「ワークライフバランス」)  
※産育休からの復職率96.8%。うちフルタイム復帰率93.5%

## 受賞・採択実績

- 日本スタートアップ大賞総務大臣賞\_2025
- 「Forbes JAPAN'S AI 50」
- 「CES® 2025」イノベーションアワード
- 「第18回ASPICクラウドアワード2024」最優秀賞【総務大臣賞】
- 多数の特許登録、国際学会での論文採択等

## コミュニケーション文化

### 距離を超えてつながる文化

- ・日々のSlackでのオープンで迅速なコミュニケーション
- ・自社プロダクト「MiiTel」による社内外会議・商談の可視化と共有
- ・定期的なオンライン・オフラインのイベントを開催し、社員同士の信頼と連携を強化

## 成功要因

- ① 「自由と責任」を掲げるカルチャーと評価制度
- ② 採用・業務・情報共有を支えるドキュメント文化
- ③ オンライン／オフラインを組み合わせた信頼ベースの関係構築



「日本スタートアップ大賞2025」にてRevCommが総務大臣賞を受賞

RevComm 2024年5月27日 11時30分



# 導入時の課題対応と他社へのアドバイス



## 想定課題と対策 ※一部紹介

### コミュニケーションの断絶リスク

- ・原則オープンチャンネルによるSlack運用
- ・自社プロダクト「MiiTel」による社内外打ち合わせ・社内MTGの可視化
- ・月次の全社員MTGでの事業状況共有
- ・月次の社内報
- ・年2回の全社員オフラインイベント
- ・四半期チームビルディング費用の活用

### オンボーディングの属人化

- ・入社後3日間、会社/部署理解のためのオンボーディング
- ・Notionを用いたオンラインオンラインボーディングパス設計
- ・体系的な新入社員フォローワークの構築

### 社員の健康、コンディション管理

- ・月次のパルスサーベイによる定期的なモニタリング
- ・労務相談窓口の設置
- ・家族休暇制度の整備



club-okan-oton (クラブおかんおとん) オンラインランチ会を開催しました!

### Random Coffeeの様子

先日HRのメンバーもRandom Coffeeに参加しました！その様子を少しご紹介します。



レブコムのリモート・フレックスについてのメディアでも多数紹介  
日本経済新聞：<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOC012GZ0R00C25A8000000/>

## これから導入・高度化を図る企業様へ

### ルールより先に前提を整える

「自由×責任」の概念を明確にし、信頼の前払いを前提として、個々の自律性を問う。細かなルールより、共有すべき価値観と目指す成果を明確にする。

### 感情の共有設計を怠らない

文字・音声・映像といったコミュニケーション手段の特性を理解し、適切に使い分ける。特に感情/定性面の共有と関係性構築には、適切な媒体や機会選択が重要。

### テレワークはあくまで手段

会社の成長と個人の成長を最大化するためのツールとして活用することが重要。オフラインコミュニケーションを排除すること、重要度を下げることが目的ではない。

### オンライン主体にオフラインを取り入れる

従来の「オンラインの中にオンラインをどう取り入れるか」から、「オンラインの中にオフラインをどう効果的に取り入れるか」という発想の転換、それ伴う施策が必要。

## 詳細は各サイトで



採用情報  
**Careers**

RevComm公式  
**note**